

85



大同団結・互助互恵

発行人：早坂 竜太

古工建友会事務局 〒989-6145 宮城県大崎市古川北稲葉3-13-21古工建友会倶楽部内

Tel&Fax 0229-24-3711 <http://www.kenyukai.net> E-mail: f_kenyukai@ybb.ne.jp

建	友
会	報

台風19号の猛威 ~教訓を活かせ!~



丸か建設(株)

土木部次長 早坂 康(古工土木科 S56 年卒)

令和元年10月12日から13日にかけて日本列島に猛威をふるった台風19号。その被害は甚大で、河川の堤防決壊は7つの県合わせて71河川140箇所、土砂災害は20都県で821件、住宅被害は全国で8万7768棟にも及んだ。

宮城県内では10月11日から13日にかけて非常に激しい降雨が続き、総雨量は広い範囲で200mm以上を観測。県内各地の河川では堤防決壊や越水などの被害が多発し、その河川の一つが鳴瀬川の支流、一級河川吉田川である。

吉田川の堤防が決壊した場所は宮城県大郷町粕川地区。1986年の8・5豪雨、2015年の関東・東北豪雨の際にも度重なる越水被害を受けてきた場所である。

10月13日午前6時頃、吉田川の水は堤防を越え、同日午前7時50分頃には約20mにわたって堤防が決壊。水の勢いは止まらず、決壊幅は約100mにまで達した。



堤防決壊直後の吉田川(RI・10・13)

午前4時頃、建設業協会より災害復旧工事依頼の連絡があり緊急出動。まだ雨は強く降っており、道路は至る所で冠水。思うように進むことが出来ず、現地到着は辺りが明るくなってからのことでした。

目前にした吉田川は、すでに堤防天端まで水位が上がっており、いつどこが破堤してもおかしくない様な状況でした。

言い知れぬ恐怖を感じながら、北上川下流河川事務所の方々と打合せを始め、当社は破堤した箇所での応急復旧工事を指示されました。

10月13日午後12時より当社を含め計5社による緊急復旧工事を開始。工事は24時間体制で行われ、盛土11,000㎡、ブロック張1,120㎡、二重締切(鋼矢板)135mを5社で分担。当社は盛土材の運搬を担当。初日は周辺一帯の水が引かず、運搬も思うように進まなかった。翌14日には水も引きはじめ、一般道の走行が可能となった。10トンダンプトラックの台数を増加、最大53台のダンプトラックで運搬を行い10月27日午後17時に緊急復旧工事は完了した。



緊急復旧工事完了(RI・10・27)

今回の堤防が決壊した大きな要因と考えられているのは、越水によるものである。越水で堤防を越えた水が宅地側の堤防法尻を削り取り、堤防そのものの断面積が減少。本来の機能を果たすことが出来ないまま、決壊部分の連鎖崩落へとつながったのではないだろうか。

このように、昨今の自然災害による河川の堤防決壊は越水が要因と考えられる事例が多く発生している。そのため、現在私が担当している吉田川河道掘削工事の中に法尻補強という工事が追加された。法尻補強とは法尻にコンクリートブロックを設置し、越水による削り取りを防ぐ工事である。

今後、本復旧工事が発注される。上記にあげた越水だけではなくそれ以外にも堤防決壊の原因は多々考えられる。より強い堤防を造るため、さらなる検討を重ね、安全に施工していきたいと思っております。

建友会公式HP <http://kenyukai.net> 公式Twitter @f_kenyukai

台風19号の猛威 ～復興支援活動～

「台風19号被害における
建築科2年生復興支援活動について」

建築科2年担任 鈴木真暢

10月23日(水) 建築科2年生33名と教員3名で登米市津山町にある「津山もくもくランド」で復興支援活動を行いました。

建築科では約10年以上前から津山町で様々な体験活動を行っており、現在は「循環型社会に貢献できる産業人材育成事業」の一環として「下草刈り体験」「間伐体験」「工房体験」を行っております。このように長年お世話になっている津山町が台風被害にあったことを知り、生徒と一緒に何かできることがないかと考え復興支援活動を行うこととしました。

活動内容は、もくもくランド裏手にある芝生広場に流されてきた舗道アスファルトや石の片付けと駐車場の泥だしでした。舗道のアスファルトが水の勢いで剥がされ、芝生まで流されてきたと聞き水害の恐ろしさを痛感しました。アスファルトは6m×2m程の大きさでしたが、細かく割って一輪車で運びました。生徒達は汗を流しながらみんなで力を合わせ、芝生広場をきれいにすることができました。



今回の活動を通して台風や自然災害の怖さを目の当たりにし、被害を受けた後の復興の大変さを痛感しました。生徒達は地道な作業にも若さあふれる力で精一杯取り組み、施設の方からお礼の言葉をいただき、復興に少しでも貢献できたことを誇らしく感じていました。今後も様々な活動を通じて生徒の心を育てていければと考えています。

ボランティアに参加して… 建築科2年生コメント

「被害の大きさに驚いたが、人の温かさを感じることができた。」

「台風の怖さや被害を受けた後の復興の大変さを感じた。」

「中腰での作業が多く、腰が痛くなり大変であったが、終わった後の達成感がとても気持ち良かった。」

「誰かの役に立ち、人にお礼を言われることはとても嬉しく、やりがいを感じた。」

「少しでも、もくもくランドの復興に貢献できてよかった。」

それでもやっぱり



高校時代の思い出(発破について) 白鳥 淳(22回)

栗原支部長をしている白鳥です。(以下少年Sと表記) 高校時代の発破に関し寄稿します。

発破: 爆薬を仕掛けて岩石などを爆破すること。又はその爆薬 強い言葉で激励したり、気合いを入れたりすること

私は昭和42年、希望に胸を膨らませ泉が池の門をくぐりました。当時、東京オリンピックが終わって数年後でしたから、空前の建築ブーム状態でした。建築科に入学するのも高い競争率の難関を潜り抜けなければ入学出来ない状況でした。(小年Sにしては) やっと希望が叶い入学することが出来、将来建築技術者になるべく胸弾ませていたことが思い出されます。入学式も終了し平常授業になった初日のことでした。強烈な出来事が有り唖然としたことを思い出されます。昼食前の授業終了間際、廊下におじさん達(そういう風に見えました)がいました。授業終了のチャイムが鳴り弁当を広げようと思ったその時「おい! おまえら皆立て」のかけ声と共に数人の先輩方がなだれこみ挨拶の仕方、服装、あるいは姿勢等々事細かに指導(?)を受けました。少年Sにしてみれば先輩は前述したようにすごく怖いおじさんそのものでした。今日だけなのかな?と淡い期待を持ったのが大間違い。これがまさか卒業式(?)まで続くとは。二日目もその状態が続き、さすがに我々少年達も二時間目終了時には早弁をし、来る発破に備えました。発破おじさんの構成ですが建築科の先輩3年生、他科の先輩3年生が主だったようです。印象深かったのは他科の

リレー寄稿

みんな古工生だった

先輩おじさんは「おめえら! 頭良いと思って生意気だぞ!」この言葉が頻繁に出ます。そんなに頭も良くないし生意気でもない少年Sは逆に「そうか俺は頭が良いのか」なんて思ったりしていました。1学期期間中続いたのでしょうか? 2年生になったらさすがに無いだろうと思いきや1年先輩の3年生から指導と称す発破を1年生時代に受け継ぐことが出来ました。

さて、少年達も3年生のおじさんになり指導をしに後輩少年達の教室に行ったのか否、行きませんでした。基本的に真面目だったのか、冷めていたのかは判断出来ませんが行かなかったのは事実です。

これで発破の想い出終了だと良いのですが、前代未聞の出来事を紹介しなければなりません。なんと我々の卒業式終了後定時制4年生に発破を仕掛けられました。今思うと無理もありません。式典の際に君が代斉唱で起立をしなかったのです。日中は働き夜間に勉強している定時制の生徒にしては苦学をやり遂げた厳粛な門出の席だったのに、建築科卒業生の為に台無しになったのですから。

1年生から卒業までの3年間発破を受け続けた少年Sの想い出でした。今でも後輩達はその伝統を引き継いでいるのか、それとも絶えたのか教えていただきたいです。発破の善し悪しに関してはコメントをしませんが強烈的な高校時代の想い出でした。補足ですが当時指導しに来てくれた先輩方は、社会に出てみたら野武士のような、これぞ建築屋というような面倒見の良い頼りになる先輩でした。

*編集部長より次の寄稿者を指名して欲しいとの事ですので次は発破をかけた先輩方をお願いします。

伝説の恩師 ~The Great Teachers~



第7回
鈴木 修一先生 (21回)

昭和44年3月古川工業高校建築科卒業後、同年4月より勤務。平成17年3月までの在籍期間は35年！

教えて！ 本部役員のお仕事！

幹事長

- **幹事長って何ですか？**
一般的に組織(会・団体)の取りまとめをする役職の人で、古工建友会では三役会のメンバーです。
- **お仕事は何ですか？**
 - ・三役会の招集、開催
 - ・本部役員会の進行、取りまとめ
 - ・総会の進行、取りまとめ
 - ・本部開催事業の取りまとめ
…雑用？

いつも会員の皆さまにはお世話になっております。

前幹事長の千葉裕一先輩(24回)から引き継いで、まだ日も浅いのですが、引き続き頑張ってますので、ご協力をよろしくお願いいたします！

本部幹事長 鎌田 孝志(39回)



※普段、何をしているのかよく分からない本部役員のお仕事を紹介させていただくコーナーです！

伝説の恩師~The Great Teachers~は部活動やクラス担任として深い愛情と信念を持ってご指導していただいた偉大な恩師を紹介する企画である。取り上げて欲しい恩師とそのエピソードも募集しています！

・生徒の印象をお聞かせください。

「男女共学になる前はね、質実剛健と言う印象が強く優秀な生徒が多かった。共学になった後も優秀な生徒は多かったけど質実剛健と言うよりは柔軟な生徒が多くなったかな。」

・在職中、心に残っている思い出を聞かせください。

「男子校時代は指導方針が技術教育という事で、就職先もゼネコンや大手建設会社を目指すことが多かった。男女共学となって時代も変わり、教育も就職先も様子が変わってきた。技術教育と言うものよりも広範な教育を目指さなければならなくなり、従前とは違う教育の難しさを感じた。」



「菊池謙先生が建友会設立のために、自分のすべてをかけて頑張っていた姿も印象深い。昭和47年当時、俺が21歳の頃だったな。十日町南にあった与五郎寿司で設立に向けての話し合いが頻繁にあり、酒もたくさん飲んだ。楽しかった。今はもう亡くなった大先輩方も、みんなあの頃は若かったね。」

・教師をしてよかったなぁと思うとき。

「自分の教え子たちが社会で活躍している姿を見ると嬉しいね。社長になったり、偉くなった姿だけではなく頑張っている姿を見ると、教員やってよかったなぁってね。そういう卒業生がいっぱいいる。それはもう生涯の幸せですね。」

・教師時代の失敗談などありますか？

「技術教育というものは日進月歩で、常に新しいものを吸収しなければならず、自分が学ぶ努力をしなければ生徒には教えられない。それを少し怠ってしまったときに“ダメだなあ”と思ったことはありますね。」

・教師時代の後悔などあれば・・・

「後悔ってことでもないんだけど、古川工業から他の学校へ移動するときは迷いがあったね。古川工業の生徒とずっといたいな。という気持ちがあったから。それでも違う学校へ行って違う環境を見られたことはいい経験にもなったし、いい勉強にもなりました。」

・座右の銘。

「“有志竟成”志を曲げることなく堅持していれば、必ず成し遂げられる。一見すると困難のようにみえても、固い信念を持って事に当たれば遂には実現される。」

「教師時代によく思っていたのは“温故知新”。古きを訪ねて新しさを知る。要するに古いものを大事にしなければ新しいものにはならない。と言うこと。これは建築でも同じ。古いものからきちんと学んで設計したり、建物をつくったりしないとだめだよってこと。人で言えば年寄りの言葉をないがしろにしてはいけない。古い考え方も大事にしていかないとね。」

・今、何されていますか？

「今は区長と自治会長をしています。プライベートの過ごし方は特にないけど、料理教室に通っていたことがあって、そば打ちは今でもしています。」

・奥様との出会いを教えてください！

「ある人の紹介で出会いました。俺が28歳の時かな？そして29歳で結婚したんだけど、その時の仲人は菊池謙先生夫妻でした。」



価値ある地域づくりへ。



株式会社仙北建設

代表取締役 高橋 克幸

〒989-6143 宮城県大崎市古川中里3丁目9番18号
 TEL.0229-23-7722 FAX.0229-23-7718
<http://www.senpoku.net> E-mail:senpoku@senpoku.net

- 取締役会長 高橋 孝 (第8回卒)
- 営業部部长 加藤 隆一 (第27回卒)
- 建築部部长 高橋 悦郎 (第39回卒)
- 建築部課長 佐藤 守冶 (第49回卒)
- 建築部 加藤 大輔 (第63回卒)
- 建築部 白井 怜史 (第65回卒)

建築科ニュース

産業廃棄物処理場見学会(7/18)

環境教育の一環として、本科が取り組んでいる3R(リデュース・リユース・リサイクル)の理解を深めることを目的とし、仙台市若林区卸町にある東北黒澤建設工業株式会社のリサイクル工場を見学した。同社には、昨春就職した先輩が2名在籍しており、後輩へ丁寧な説明を行っていた。見学は2・3年生73名。



津山町林業体験(7/18)(12/3)1年生39名



7月18日、津山町林業研究会の指導のもと、先輩方が植えた杉苗の除草刈りを体験した。また、12月3日には、間伐体験も行った。これらの林業体験は、宮城県が行っている循環型社会に貢献できる産業人材育成事業の一環として毎年1年生が取り組んでいる。

OB及び在校生スポーツ交流会(7/20)

第15回「OB及び在校生スポーツ交流会」が総勢42名の参加で行われた。競技種目は、陸上のカーリングと呼ばれている「ベタンク」。ほとんどの生徒は、初めての種目に興味津々。インストラクターの資格を持つ宮澤館長から投球フォームやルールの説明を受け、早速競技を開始。熱戦を繰り広げた。MVPは佐藤克匡君。



職場見学会(8/27)

恒例の職場見学会を各学年で実施した。1年生は、「スモリの学校とボルク寺岡住宅展示場」、2年生は「(仮称)二日町Ⅱ南計画新築工事現場と東北工業大学」、3年生は「宮城野ビル新築工事現場」を見学後、建友倶楽部を訪問した。



就職模擬面接(9/4・5・6)3年生20名

今年度は、9月4・5・6日の3日間で20名の就職希望生徒が、模擬面接を受けた。面接官はのべ14名。小坂井事業部長から受け答えの引き出しを沢山作り、詰め込まない様に！とアドバイスを受けた。

第17回産業現場実習&発表会 ご協力に感謝!

産業現場実習(インターンシップ)が10月8日～11日まで建友会事業部と大崎設計事務所協会はじめ大崎地域の建設関連企業様の全面的な協力により実施した。

2年生33名が16事業所での体験実習を通し、将来の職業選択の一助とすることを目的に始まったインターンシップも今年で17回目となった。また、体験発表会を11月19日に行い各事業所の担当者から助言をいただいた。

◆受入事業所(順不同・敬称略)

大崎市役所 (株)アルプスビジネスクリエーション (株)古川土地
 (株)三塚内装 新日本商事(株) 鶴秀工務店(株) (株)藤山工務店
 (株)村田工務所 (株)檜工務店 佐信木材(株) (株)高勝リフォーム
 原建築設計事務所 佐々木幸正建築設計室 (有)テラ構造設計
 ONO一級建築設計事務所 (株)木材スーパーエンドー

「古工展」(10/26)来場者1000人を超える!

今年のテーマは「昭和?平成?令和だよ全員集合!新時代!古工展の幕開けだ〜」。生徒会執行局や実行委員会が中心となり企画・準備を行った。建築科生徒関連の受賞は次の通り。来場者数は前年比210名増の1075名。

◆ステージ発表部門

優秀賞 吹奏楽部

◆展示発表部門

優秀賞 A1おばけ屋敷



高校生ものづくりコンテスト宮城県大会(11/2)

制限時間2時間30分で小屋組の一部を製作する「ものづくりコンテスト宮城県大会木材加工部門」が、仙台工業高校で開催された。



本校からエントリーした建築2年の高橋碧君が見事第2位となった。

【高橋碧君のコメント】

昨年に続き参加したが、前年度と比べものにならないくらい難しい課題であった。

放課後も遅くまで練習した甲斐があり2位になることができた。今回の経験を将来に活かしていきたい。

今春卒業の「建築科72回生」希望進路全員達成!

昨年に続き好調な求人支援に支えられ、全員が希望進路を達成した。内訳は民間就職21名、進学19名(4年生大学9名・各種学校10名)。次のステージでの活躍に期待したい!

Information

大同団結・互助互恵

北から南から～事務局把握分

(令和元年7月以降判明分)

※個人情報保護のため、個人の住居を簡略表示とし、電話番号も掲載いたしません。

☆ <敬称略>

旧1 ～ 71回

- ◆1844 吉田直三郎 七ツ森ビルド合同会社代表取締役
- ◆2324 白石 崇 (株)久慈建築設計事務所特別顧問
- ◆6511 近江 理紗 大崎市役所建築住宅課
- ◆6708 近江 志穂 オリエンタルランド
- ◆7104 氏家 拓輝 (株)福田組東北支店
- ◆7110 菊地紗夕香 (株)ネクスコ東日本エンジニアサポート
- ◆7119 斎藤 多恵 (株)ハウテック東北工場
- ◆7120 斎藤 友紀 経塚工業(株)
- ◆7121 斎藤 颯樹 (株)大京穴吹建設
- ◆7127 関 秀輔 東芝メモリ岩手(株)

古工建友会事業記録

(令和元年7月～)

■大崎青年部「第22回菊池杯争奪歓迎別ボウリング大会」

[7月20日(土)・三本木ビックボウル・10名]



■第28回栗原支部総会

[8月23日(金)・アロマゲート・出席12名]



本部よりご多用のところ早坂会長、宮澤館長、猪股運営委員長、藤山大崎支部長、遠藤編集部長にご出席いただき心より感謝申し上げます。総会では事業及び決算報告について満場一致で承認いただきました。

白鳥支部長のお声がけにより若い2名の初参加があり、フレッシュな雰囲気の中、参加者の近況報告や当時の古工など笑いの絶えない豊富な話題で大いに盛り上がりました。

田舎(いい仲)の栗原支部総会。おいしく楽しかった時間に感謝します。

(幹事長 高橋 誠一・36回)

■建築科3年生古工建友倶楽部訪問

[8月27日(火)・43名]

72回生となる建築科3年生が訪問。早坂会長より、建友会の成り立ちや歴史をはじめ「多くの先輩方の無私の心で続いている素敵な会である。」と説明があり、宮澤館長からは倶楽部の利用方法や「何事も自分のことだけでなく”誰かのために”と思うと頑張れるよ。」と、今後の人生に向けたアドバイスを頂きました。真剣なまなざしで参加していた

3年生からも「古工生であることを誇りに思います。」と力強い言葉をいただきました。



■就職模擬面接

[9月4・5・6日・古工建友倶楽部・模擬面接希望20名・面接官延14名]

今年度は9月4・5・6日、3日間の日程で開催いたしました。ただならぬ緊張感の中、生徒の皆さんはしっかりと受け答えなども出来ており感心いたしました。本番でも、明るく元気に頑張ってくださいね。緊張は当たり前! 全員! 落ち着いてファイトです!

<面接官>千葉裕一(24)、木村哲夫(29)、藤山吉彦(30)、門脇二郎(37)、鎌田孝志(39)、佐藤 優(42)、三塚猛(42)、小坂井康弘(45)、遠藤秀春(47)、小林弦(41)、紺野道子(46) (事業部長 小坂井康弘・45回)



■第36回大崎支部総会「大崎のつどい」[第19回大崎青年部のつどい]

[9月7日(土)アインパルラ浦島・36名]

3年ぶりの開催となったつどいですが、15回生から71回生まで幅広い年代の会員が交流を深めました。懇親会では青年部の進行

新規賛助会員のご紹介

*大崎市古川の結婚式場。『出来ない結婚式、ゼロに。』がテーマ。他宴会、会議等のご利用も承っております。

(株)浦島 アインパルラ浦島

執行役員 支配人 熊谷 渉 様

〒989-6116宮城県大崎市古川李塚3丁目2-2
TEL 0229-24-8833 FAX 0229-24-8422
http://www.ainperla-urashima.co.jp
E-mail:info@ainperla-urashima.co.jp

<紹介者: 会長 早坂竜太>

★結婚おめでとう★

<令和元年7月以降判明分>

☆6514 小倉 俊訓さん

*披露宴には本部から祝詞をお送りします。事前に連絡下さい。



で「くじ引き大会」が行われ、豪華景品を前に大変盛り上がりました。校歌斉唱では青木司氏(27回)のエール、手締めは宮澤忠一館長(21回)で行われ、大盛会のうちに終了しました。(幹事長 小林 弦 41回)



■第27回北海道支部総会「北の大地の集い」
〔9月28日(土)・串鳥番外地・出席6名〕
毎年同じ顔ぶれとなっておりますが、アルコールが入ると自然に盛り上がり、過去の思い出や、ラグビーワールドカップの話などに話の花が咲きました。

ここ数年、体調不良で欠席されている先輩方も多いのですが「北の大地の集い」の席で会員皆さまにまたお会いできる事を楽しみに、健康に留意して頑張っていきましょう。(支部長 千葉 敏明・20回)

■第15回仙台支部ゴルフコンペ

〔10月5日(金) 仙台ゴルフカントリー倶楽部・参加・12名〕
台風18号から変わった温帯低気圧による風雨の予報で「ゴルフコンペ」の開催を大変心配しておりましたが、当日は下界の不安をよそに雨に降られる事もなく始終楽しいラウンドだったようです。今年の優勝は15回生の吉田勝夫先輩!おめでとございます!

■第41回仙台支部総会「伊達な集い」
「伊達な青年部の集い」

〔10月4日(金)・パレスへいあん・出席21名〕



本部より宮澤館長、早坂会長にお越しいただき、また、宮城県建築士会会長の砂金隆夫先輩(19回)にもお忙しい中足を運んでいただきました。感謝申し上げます。出席会員の高齢化が若干気になる所ではございますが、ますますお元気な先輩方と食べて飲んで高らかに校歌を歌い、貴重な時間を一緒に出来る事。来年もまた皆さんにお会いできる事を楽しみに続けて行きたいと思っております!(幹事長 遠藤ゆり 45回)

■第33回関東支部総会「関東支部・青年部合同のつどい」

〔10月19日(土)・ホテルニューオオタニ 宴会場・出席21名〕

参加者20名を超える事が出来たのは、ご家族で出席いただいた早坂会長の奥様と娘さん奈夏ちゃんの出席があつての事。おかげさまで会場は和やかに盛り上がり大変楽しい総会となりました。懇親の部では古工関東同窓会前会長加藤氏の祝辞、本部相談役原清人氏の乾杯で始まり、恒例のロールケーキ(お菓子)争奪戦では編集部長遠藤ゆりさんのプレゼンターで盛り上がりも最高潮に達しました。場所を移しての2次会は大カラオケ大会!赤坂の夜は21時終了となりました。ご参加いただいた皆さん遅くまでお疲れ様でした。(支部長 小出順一郎 26回)



■第13回三役会

〔11月6日(木)・建友倶楽部・6名〕
・運営委員会、本部役員会、総会の日程について

■第66回運営委員会

〔11月27日(水)・建友倶楽部・22名〕
・三部会事業報告・本部役員会、総会の日程について

■建築科・建友倶楽部交流会

〔11月27日(水)・建友倶楽部・22名〕
スポーツ交流会、模擬面接やインターシッップ等、先生、在校生と会員が接する事業は多い。今回も、互いの要望など率直な意見が交わされた。



運営維持カンパご協力者

皆様の熱い思いに感謝致します!

【R1.7.1~12.31】敬称略

恩師 伊藤 貴陸	2,000 円
10回生 傘寿祝会	5,000 円
匿名	1,000 円
331 鈴木 弘人	5,000 円
435 森 史郎右衛門	3,000 円
613 小川 重夫	10,000 円
625 佐藤 忠	2,000 円
1001 阿部 大作	2,000 円
1016 斎藤 栄希	3,000 円
1021 柴田 重男	4,000 円
1038 千葉 三男	1,000 円
1219 佐野 英雄	3,000 円
1233 高橋 昂	3,000 円
1305 五十嵐直喜	2,000 円
1329 高橋 哲雄	2,000 円
1334 田口 浩	2,000 円
1335 近岡 鉄男	2,000 円
1816 佐々木新悦	5,000 円
1844 吉田直三郎	5,000 円
2004 澁谷 金男	2,000 円
2022 主藤 雄次	2,000 円
2134 千葉 幸悦	2,000 円
2240 掘切 政義	6,000 円
2321 千田喜美夫	3,000 円
2324 白石 崇	3,000 円
2327 高橋 勝二	2,000 円
2329 高橋 幸二	1,000 円
2331 直枝 正志	3,000 円
2335 松田 豊	1,000 円
2507 氏家 忍	3,000 円
2532 千葉 秀則	3,000 円
2541 板垣 力	2,000 円
2601 相澤 洋一	8,000 円
2613 小出順一郎	3,000 円
2629 千葉 一夫	5,000 円
2807 小山 伸男	1,000 円
2829 高橋 和弘	3,000 円
2910 小川 恂一	5,000 円
2921 斎藤喜久夫	2,000 円
3207 笠原 久義	2,000 円
3311 大場 善浩	3,000 円
3433 早坂 憲司	2,000 円
3517 斎藤 善弘	3,000 円
3521 佐々木秀則	2,000 円
3610 川村 辰巳	2,000 円
3719 鎌田 良和	3,000 円
3811 熊谷 健治	8,000 円
3937 早坂 徹	1,000 円
4219 佐藤 昌運	2,000 円
4424 菅原 政博	5,000 円
4608 喜藤 純也	1,000 円
4625 高橋 順子	2,000 円
6213 日下 健	3,000 円
6514 小倉 俊訓	2,000 円
6701 有川 太貴	2,000 円
7037 森 友里恵	2,000 円
56名	167,000 円



宮澤 忠一 (古工建友倶楽部館長・21回生)

2020年あけましておめでとうございます。本年も会員皆さまに良い年でありますようお願いいたします。

昨年は、7月に21回生北海道で同級会、12月に21回生東京支部忘年会参加、9月には大人の休日で東北・北海道5日間旅行。PGの県外遠征では7月に青森十和田大会、8月秋田ジュネス栗駒大会、12月福島相馬松川浦大会参加と、忙しくても楽しい年でした。また、県内に新しいPG場が登米市・東松島市にオープン。プレーする場が増え楽しみです。

2019年PGプレー日数は214日でした。今年はずっと増えそうです……。

同級会便り



◆19回生同級会

【R元. 11. 8「わらやきや」出席16名】

毎年恒例となっておりますが「令和」となると初の19回生同級会「六無会」。今年は仙台での開催となりました。地元出席者が多い中、久しぶりに東京からの参加となった同級生など、総勢16名での大変にぎやかな会となりました。近況報告では、まだ現役で働いている者も多く、団塊の世代がやすやすと引退出来ない世相を反映したありがた

謹 弔

<令和1年8月以降判明>

- 0827鈴木 孝雄さん
古工建友会教職部会初代会長
(R1年12月15日死去)
- 1724澤邊 好弘さん
(R1年6月3日死去)
- 2001青木 政美さん
(R1年11月30日死去)
- 2006江刺 英夫さん
(R1年12月15日死去)
- 2512菊地 敏さん
(R1年10月6日死去)

謹んでご冥福をお祈りいたします。

い話もあり、ウン十年前の思い出話もあり・・・話題は尽きませんが、楽しい時間はあっと言う間です。

来年は新緑の鳴子で開催を予定しております。皆さんまた元気に再会しましょう。

(幹事 武部文雄)

平成31・令和2年度
年度会費 各2,000円
お近くの郵便局より同封の振込み用紙にて記載分をご送金下さい。
★銀行からも振込めます!
【振込先口座番号】
七十七銀行南古川支店
普通5233852
古川工業高等学校建友会会長
早坂 竜太

70才以上の会員の皆さまへ

平成26年度より、70才以上の先輩会員の皆様は年会費2,000円が免除となっております。令和2年度から**該当するのは21回生**の皆様です。
同封の振込用紙には会費納入金額の記載はございませんが、可能な範囲で「維持カンパ」へのご協力をお願いしております。
これまで同様、後輩たちの奮闘と建友会の運営を温かく見守りくださいますよう、お願い申し上げます。

資格取得者

次の方たちが、資格を取得されました。心から祝意を表します。
(令和元年7月以降判明、事務局把握分)

◆二級建築士
5505 伊辺 佑成

古工建友会「本部役員会」と「総会」のご案内

古工建友会会長 早坂 竜太

下記の内容で「総会」を開催致しますのでご案内を申し上げます。
尚、一般会員の皆様は総会のみ参加となります。

日 時： 令和 令和2年4月25日(土) 15時～「本部役員会」
同 上 16時～「総 会」

場 所： 古工建友倶楽部 Tel 0229-24-3711
大崎市古川北稲葉3-13-21

※会場準備の関係上、出席される方は建友倶楽部までご連絡ください。

編集後記

◆早くも令和も2年。元号が違和感なくしっくりしてきました。(建友会の年度としては、R元年度表記はなく、R2.3.31までH31年度となります) 受け継がれて創設48年目。会報は85号に。巻頭で台風の恐ろしさを克明に伝えていただきました。災害復旧に携わっている多くの方々のご尽力に頭が下がります。◆友に貰ったシクラメン。3夏越し植替え成功。今、倶楽部で真綿色に咲いています。今は、昔はなかった色も、そして香りまでついているものもあるのだとか。世の中、もうできないことはない? 令和2年、幸せな年でありますように。(恵)

【古工建友会報 第85号】

令和2年(2020)年2月1日 発行
発行人: 早坂 竜太 (37回)
運営委員長: 猪股 昭一 (29回)

〒989-6145
宮城県大崎市古川北稲葉3-13-21
古工建友倶楽部内
Tel&Fax 0229-24-3711

【会報編集STAFF】
編集部長: 遠藤 ゆり (45回)
副部長: 小林 弦 (41回)
部員: 千葉 敏明 (20回)
": 佐藤 忠徳 (21回)
": 岡 好和 (34回)
": 高橋 誠一 (36回)
": 遊佐 忠行 (38回)
": 遠藤 秀春 (47回)
事務局員: 小林恵美子

【印刷所】 ハック印刷 Tel 0229-23-8900
〒989-6135 大崎市古川稲葉1-1-29